

「使用上の注意」改訂のお知らせ

徐放性カリウム剤
塩化カリウム徐放錠600mg「St」
POTASSIUM CHLORIDE SR Tablets 600mg「St」
(塩化カリウム錠)

2023年11-12月

alfresa

販売元 アルフレッサファーマ株式会社

製造販売元 佐藤薬品工業株式会社

この度、標記製品の電子化された添付文書（電子添文）の「使用上の注意」を改訂いたしましたので、ご案内申し上げます。

今後のご使用に際しましては、下記内容及び最新の電子添文をご参照くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 改訂内容 [(波線) 部は追加改訂箇所、 (点線) 部は削除箇所]

改訂後	改訂前												
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1～2.6 変更なし</p> <p>2.7 <u>エプレレノン（高血圧症）</u>、<u>エサキセレノン</u>を投与中の患者[10.1 参照]</p>	<p>【禁忌】（次の患者には投与しないこと）</p> <p>(1)～(6) 省略</p> <p>(7) <u>エプレレノン（高血圧症）</u>を投与中の患者（「3. 相互作用」の項参照）</p>												
<p>10. 相互作用</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>エプレレノン セララ（高血圧症） <u>エサキセレノン</u> <u>ミネプロ</u> [2.7 参照]</td><td>高カリウム血症があらわれることがある。</td><td><u>これらの薬剤</u>は血中のカリウムを上昇させる可能性があり、併用により高カリウム血症があらわれやすくなると考えられる。 危険因子：腎障害患者</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	エプレレノン セララ（高血圧症） <u>エサキセレノン</u> <u>ミネプロ</u> [2.7 参照]	高カリウム血症があらわれることがある。	<u>これらの薬剤</u> は血中のカリウムを上昇させる可能性があり、併用により高カリウム血症があらわれやすくなると考えられる。 危険因子：腎障害患者	<p>3. 相互作用</p> <p>(1) 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>エプレレノン セララ（高血圧症）</td><td>高カリウム血症があらわれることがある。</td><td><u>エプレレノン</u>は血中のカリウムを上昇させる可能性があり、併用により高カリウム血症があらわれやすくなると考えられる。 危険因子：腎障害患者</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	エプレレノン セララ（高血圧症）	高カリウム血症があらわれることがある。	<u>エプレレノン</u> は血中のカリウムを上昇させる可能性があり、併用により高カリウム血症があらわれやすくなると考えられる。 危険因子：腎障害患者
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
エプレレノン セララ（高血圧症） <u>エサキセレノン</u> <u>ミネプロ</u> [2.7 参照]	高カリウム血症があらわれることがある。	<u>これらの薬剤</u> は血中のカリウムを上昇させる可能性があり、併用により高カリウム血症があらわれやすくなると考えられる。 危険因子：腎障害患者											
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
エプレレノン セララ（高血圧症）	高カリウム血症があらわれることがある。	<u>エプレレノン</u> は血中のカリウムを上昇させる可能性があり、併用により高カリウム血症があらわれやすくなると考えられる。 危険因子：腎障害患者											

改訂後			改訂前		
10. 相互作用 10.2 併用注意（併用に注意すること）			3. 相互作用 (2) 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
エプレレノン（慢性心不全） <u>フィネレノン</u>	血清カリウム値が上昇する可能性があるため、血清カリウム値を定期的に観察するなど十分に注意すること。	カリウム貯留作用が増強するおそれがある。	エプレレノン（慢性心不全）	血清カリウム値が上昇する可能性があるため、血清カリウム値を定期的に観察するなど十分に注意すること。	カリウム貯留作用が増強するおそれがある。
抗アルドステロン剤 変更なし ドロスピレノン・エチニルエストラジオール トルバプタン	高カリウム血症があらわれることがある。	これらの薬剤は血中のカリウムを上昇させる可能性があり、併用により高カリウム血症があらわれやすくなると考えられる。 危険因子：腎障害患者	抗アルドステロン剤 省略 ドロスピレノン・エチニルエストラジオール	高カリウム血症があらわれることがある。	これらの薬剤は血中のカリウムを上昇させる可能性があり、併用により高カリウム血症があらわれやすくなると考えられる。 危険因子：腎障害患者
変更なし			省略		
筋弛緩剤 <u>ロクロニウム臭化物</u> 等	筋弛緩剤の作用が减弱することがある。	カリウムイオンは骨格筋の収縮に関与している。	筋弛緩剤 <u>ベクロニウム</u> 等	筋弛緩剤の作用が减弱することがある。	カリウムイオンは骨格筋の収縮に関与している。

II. 改訂理由（自主改訂）

相互作用の相手薬との整合を図るため、「禁忌」及び「併用禁忌」の項にエサキセレノン、「併用注意」の項にフィネレノン及びトルバプタンを追記しました。

また筋弛緩剤のベクロニウムは、既に販売が中止されていることから削除し、ロクロニウム臭化物を追記しました。

併せて、添付文書の新記載要領に対応した全面改訂を行っております。

本改訂内容は医薬品安全対策情報（DSU）（No.322：2023年12月6日公開予定）に掲載されます。

最新の電子添文は、PMDA ホームページ（<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>）に掲載され、専用アプリ「添文ナビ®」を用いて、製品の包装や下記のGS1バーコードを読み取ることで、PMDA ホームページ上の最新の電子添文をご覧いただけます。

また、弊社の医療用医薬品情報サイト（<https://www.alfresa-pharma.co.jp/iyaku/>）でも、ご覧いただけます。

【本改訂内容に関するお問い合わせ先】

アルフレッサ ファーマ株式会社
医薬安全性情報室
TEL 06-6941-0302 FAX 06-6942-6310

塩化カリウム徐放錠 600mg 「S t」



(01) 14987274136617